



Nihon Clinic

日本クリニック

August, 2015



今月の健康ニュースレター (Monthly)



◆◆◆ ハチアレルギーについて ◆◆◆



これからハチの動きが活発になる時期です。

当院にも『ハチに刺されたけどどうしたら良いですか?』という問い合わせが多くなります。

●家庭での対処法●

まず、腫れや痛みといった単なる局所症状だけの場合は、次のような家庭での処置で十分です。

①針を抜く—

もし針が刺さっていれば、押し込まないように注意してすぐに爪やピンセットで抜く。刺さったままだと毒が広がってしまうので出来るだけ早く抜く。無理な場合は受診を。

②消毒—

石けんを使い、冷たい水でよく洗う(お湯で洗ってはいけません。熱によりハチ毒は、さらに広い範囲に、しかも早いスピードで広がってしまうので)

③冷やす—

痛みや腫れを柔らげるために、とにかく冷やし続ける。冷やすのが遅れると症状がひどくなるため早く冷やし始める。

④市販の鎮痛剤や抗ヒスタミン剤服用—

痛みがひどければTYLENOL, ADVIL等の痛み止めを飲む。

痒みが強ければ、BENADRYLを飲む、あるいは市販のステロイド軟こうを塗る。

なお、局所的な症状でも普通より強い場合は、必ず受診を!

●緊急に医療が必要な場合●

ハチに刺された後、そのまま放置せず緊急に医療が必要なのは、命にかかわる激しいアレルギー症状が表れた場合です。

ハチ毒に対するアレルギーは、次の様にして起こります。

ハチに刺され体の中に毒が入ってきた時、そのハチの毒に対してアレルギーを持つ方は、毒に対して抗体が作られます。次に抗原である同種のハチ毒が再び体の中に侵入して来るとそれを迎える抗体との間で激しい戦い、つまり抗原抗体反応が起きます。これがハチ毒によるアレルギー反応です。そして、抗原(ハチの毒)に接触する頻度が多ければ多い程、つまり刺される回数が増えるごとに、作り出される抗体量も増え、結果として起こるアレルギー反応も強く表れます。

●ハチ毒のアレルギー症状●

具体的には、ハチに刺された直後に吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、全身じん麻疹、息苦しさ、呼吸がヒューヒュー、ゼーゼー聞こえる等の全身的な症状が表れます。さらにもっと重症な場合は、血圧が急に下がり、意識を失いショック状態に陥る、気道の狭窄が起こり、呼吸困難、窒息状態に陥ったりします。

このような急激に全身に表れるアレルギー反応は、ひとたび起こると生命の危機を招く恐れがありますので、なんと言っても予防が肝心です。前述のように、ハチアレルギーは、初めて刺された時に起こるわけではなく、強い抗体が体の中で作られて初めて起こります。そこで、予防の第一は以前ハチに刺された時の症状チェックすることです。

もし、刺された腕全体が赤く腫れ上がったなど、普通の局所反応より強く出たことのある方は、次回、全身反応に進展する可能性がありますので、要注意です。

●ハチアレルギーの予防策●

では、すでにハチアレルギーがあると分かっている方、あるいはハチアレルギーがあるかもしれない方が、ハチで無駄に命を落とさないためにはどうしたら良いでしょうか?

その予防策として、『EpiPen』と呼ばれる携帯用の注射があります。これは、エピネフリン(アドレナリン)と呼ばれるアレルギー反応に対して即効性のある特効薬を自分で注射できるようにしたペンタイプのもので、いざという時には、これが、命を救う唯一の方法ともなります。なお、購入するには、処方せんが必要ですので、携帯したい方は、ぜひ主治医にご相談下さい。

以上のようにハチに刺されたと言うだけで必ずしも医療機関を訪れる必要はありませんが、短時間に全身的な激しい症状が表れたり、ハチアレルギーの方が刺された場合は、一刻も早く救急車で病院に。ハチアレルギーをお持ちの方は、必ずエピペンの携帯を。

特にお子さんの場合、注意深く様子を見てあげましょう。



米国内の日本クリニック

CHICAGO

(847) 952-8910

SAN DIEGO

(858) 560-8910

Nihon Clinic

2010 S. Arlington Heights Rd.
Suite 101
Arlington Heights, IL 60005

予約:(847) 952-8910

内科:(847) 758-8080

小児科:(847) 640-5437

カイロ科:(847) 956-3250

ウェブサイトもご利用下さい。

Website: www.nihonclinic.com

E-mail: chicago@nihonclinic.com

